

(1)保存地区の概要

地区名 萩市浜崎

種別 港町

面積 約10.3ha

選定年月日 平成13年11月14日

特徴 浜崎は、城下町の形成にともなって開かれた港町で、近世は北前船の寄港地として廻船業と水産業で栄え、大正から昭和初期にはイリコなどの水産加工業や夏蜜柑等の積み出し港として栄えた。江戸時代以来の街路、敷地割がよく残り、南北を走る本町筋を中心に江戸時代から昭和初期に建てられた町家が数多く残る。



旧山村家住宅

地区名 萩市佐々並市

種別 宿場町

面積 約20.8ha

選定年月日 平成23年6月20日

特徴 佐々並市は、萩市の南部を占める旧旭村の南縁に位置する農村集落で、かつての萩城下町と三田尻(防府市)を結ぶ萩往還の中間点に位置することから、参勤交替の際などに藩主が休息する御茶屋を中心とした、宿駅機能を有する集落として栄えた。町並みは江戸初期に農業を基盤としつつ、萩往還の整備に伴って宿駅機能を備えた町並みとして成立し、近年に至るまで町並みの地割に大きな変化はなく、かつこの町並みの特徴を示す建築物や工作物、環境物件が現在まで数多く残っている。



佐々並のまちなみ

(2) 保存地区のあゆみ

昭和51年 萩市伝統的建造物群保存地区保存条例を制定

→堀内地区・平安古地区(武家地)が国重伝建地区に選定

平成元年 萩往還が国史跡に指定

平成10年 浜崎地区保存対策調査(～平成11年)

平成13年 浜崎地区(港町)が国重伝建地区に選定

平成14年 堀内地区・平安古地区見直し調査(～平成15年)

平成16年 萩まちじゅう博物館条例を制定

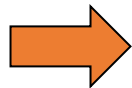
→市と市民の責務を条例で規定

平成18年 佐々並市地区保存対策調査(～平成19年)

平成21年 萩市歴史風致維持向上計画を国が認定

平成23年 佐々並市地区(宿場町)が国重伝建地区に選定

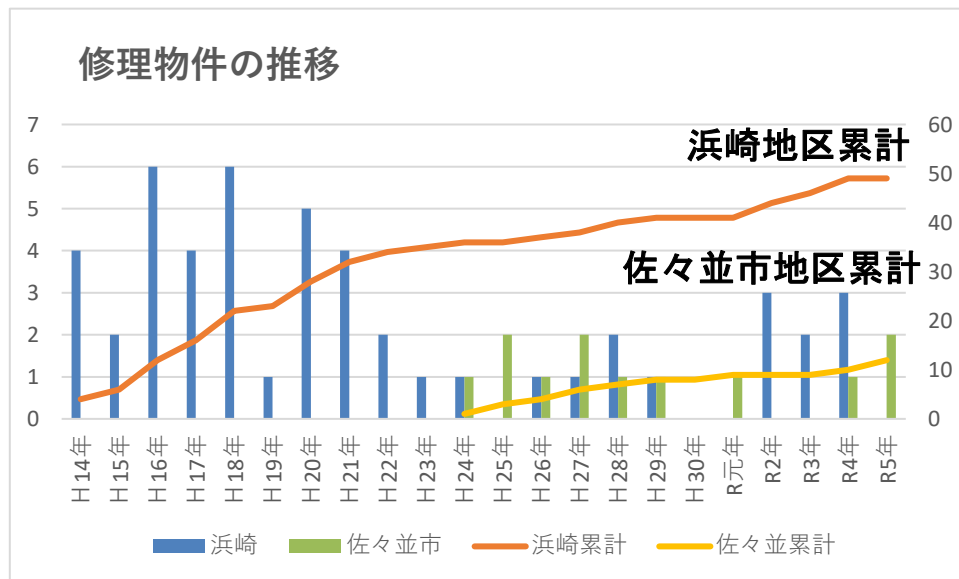
(3) 保存地区の保存と整備



K家主屋修理(佐々並)



町家モデル保存整備(浜崎)



(4) 保存地区の活用とまちづくり



浜崎伝建おたから博物館



佐々並おいでん祭の
町並みガイド



町家を改装したレストラン(浜崎)



模擬結婚式(佐々並市)